（別添資料１）

事業所名	児童発達支援　エイビイシイひまわり教室	**支援プログラム**	作成日	令和7 年	1 月	14 日

法人（事業所）理念		(法人) ・働きながらの子育てを応援する。 ・保護者の就労支援と生き方を応援する。 ・子どもが心身共に健全に育つよう援助する。 ・地域に貢献する。
支援方針		・アイデンティティの確立：自己同一性、自尊心を育てる。「自分はやればできる、自分は愛されている」という思いを育む。 ・人生の質の向上：「心身ともに健康で満足している」「自分らしく、生活に生きがいを持てる」と思える毎日を過ごせる。 ・環境への適応能力：環境（人・場所・活動）へ適応する力を身に付け、集団参加、健全な対人関係を構築して継続する力を育てる。 ・自立に向けて：自分でできることを増やす＋適切に周囲の助けを受けながら満足して生活する。
営業時間		９ 時 ００ 分から １６ 時 ３０ 分まで　　送迎実施の有無：なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	身辺自立の確立、トイレトレーニング、手洗い指導、衣服の着脱、玩具や使用した物の片付け、鼻のかみ方など。 早寝早起き、バランスの取れた食事、歯磨き等の生活習慣等必要性の理解
	運動・感覚	平衡感覚・固有感覚へのアプローチとして、トランポリン、バランスボール、平均台、バランスペダル、ポックリ、スクーターボード、ハンモックなどのバランス用具を使用した運動 鉄棒や手押し車などの手掌支持運動、その他、マット運動、ジャンプ、片足立ちなどの自重運動などを取り入れている。肩甲骨の動きをスムーズにするタオル運動なども取り入れている。微細運動では、指先のパワーピンチを育てる課題として、洗濯バサミやクリップを使用した遊び、垂直面で肩肘を使い描くこと、スプーン、鉛筆、箸の使い方など。 運動で、動きを調整することにより気持ちの調整につなげるために、動く（速く、ゆっくり）、制止する動作を取り入れている。
	認知・行動	認知面では、大きい、小さい、前後左右、長短、形などの言葉の概念理解、実数と数字の結びつき（数の三項関係）、文字学習など 行動面では、行動制御や気持ちの調整（クールダウンとして）着席練習を取り入れている。他、多動、衝動性の改善として、極短時間に集中してプリント等を行うなど。
	言語 コミュニケーション	感情語彙（マイナス言葉）の理解と応用、要求語の自発的発声、発語、アイコンタクトの頻度をあげる。 援助要求スキルの向上、構音訓練、PECSを使用したやり取り、名詞、動作語、物の用途の理解、文章表現など。 会話のキャッチボールなどの相互的なやり取り、御用学習など。
	人間関係 社会性	主に年長児では、SST（自己理解、他者理解）、アサーション、他者との交渉、他者と協調（相談）して課題を実行するなど。 低年齢では、遊びを通して他者と関りを持つ。遊びながら、コミュニケーションに必要な言葉を使用する。指導員の遊びに関心を持ち、関わろうとする。 TCIT（指導員と子どもの相互交流療法）
家族支援		・子育てにおける困りごとに対する相談援助。 ・きょうだいへの相談援助。 ・子育てや障害に関する情報提供。 ・保護者同士の交流の機会の提供。
移行支援		・進学や転園などの移行に向けた移行先との調整。支援内容の共有や受け入れ体制作りへの協力など。 ・進路や移行先の選択についての家族への相談援助。また移行に向けての様々な準備の支援。
地域支援・地域連携		・利用児童が通う保育園や幼稚園等との情報連携や支援に関する相談援助。 ・他事業所との連携。
職員の質の向上		・職員による内部研修や外部講師による勉強会の実施 ・外部研修への参加
主な行事等		・季節の行事 ・保護者交流会

（別添資料１）

事業所名	放課後等デイサービス　エイビイシイひまわり教室	**支援プログラム**	作成日	令和7 年	1 月	14 日

法人（事業所）理念	（法人） ・働きながらの子育てを応援する。 ・保護者の就労支援と生き方を応援する。 ・子どもが心身共に健全に育つよう援助する。 ・地域に貢献する。										
支援方針	・アイデンティティの確立：自己同一性、自尊心を育てる。「自分はやればできる、自分は愛されている」という思いを育む。 ・人生の質の向上：「心身ともに健康で満足している」「自分らしく、生活に生きがいを持てる」と思える毎日を過ごせる。 ・環境への適応能力：環境（人・場所・活動）へ適応する力を身に付け、集団参加、健全な対人関係を構築して継続する力を育てる。 ・自立に向けて：自分でできることを増やす＋適切に周囲の助けを受けながら満足して生活する。										
営業時間	平日	１１	時	００	分から	１７	時	００	分まで	送迎実施の有無	なし
	土曜/ 長期休暇	９	時	００	分から	１７	時	００	分まで		
	支　援　内　容										
本人支援	健康・生活	・時間や空間を本人にわかりやすいよう構造化する。 ・清潔、健康的な生活習慣といった衛生観念を育てる。 ・自分の生活をマネジメントできるよう、自分で組み立ててできる行動を増やす。									
	運動・感覚	・遊びや活動を通して様々な動きや感覚を経験し、神経系の発達を促す。 ・体を動かす楽しさを知り、生涯を通じた運動習慣の基を作る。 ・動作の基本となる姿勢の保持や走る跳ぶなどの各種の運動の習得及び向上を目指す。									
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、認知機能の発達を促す。 ・物の機能や属性、大小、数、時間等の概念の形成を図る。 ・感覚や認知の偏りへの対応支援。									
	言語 コミュニケーション	・遊びや活動を通して物事と言葉の意味を結び付け、言語の習得や自発的な発声を促す。 ・言葉だけでなく表情や身振り、指差しなどを用いて意思の伝達ができるよう支援する。 ・相手の意図を理解する力や自分の考えを言葉で適切に伝える力を伸ばす。 ・ひらがな・カタカナの読み書き、短文を読むなど基本的な読み書き能力向上のための支援を行う。									
	人間関係 社会性	・指導員との安定的な関わりを通じて、信頼関係を形成する。 ・集団活動を通して、葛藤を調整する力や主張する力、折り合いをつける力を育てる。 ・SSTを通して社会的なルールやマナーを学ぶ。									
家族支援	・子育てにおける困りごとに対する相談援助。 ・きょうだいへの相談援助。 ・子育てや障害に関する情報提供。 ・保護者同士の交流の機会の提供。									移行支援	・進学や転園などの移行に向けた移行先との調整。支援内容の共有や受け入れ体制作りへの協力など。 ・進路や移行先の選択についての家族への相談援助。また移行に向けての様々な準備の支援。
地域支援・地域連携	・利用児童が通う保育園や幼稚園等との情報連携や支援に関する相談援助。 ・他事業所との連携。									職員の質の向上	・職員による内部研修や外部講師による勉強会の実施 ・外部研修への参加
主な行事等	・季節の行事　（夏季休業期間のカルピスカフェなど） ・保護者交流会										